



## ビジネス・人権と水・衛生

特定非営利活動法人ウォーターエイドジャパン  
高橋 郁  
2022年6月2日



# ウォーターエイド 概要



## WaterAid 概要

【活動国・メンバー国数】 34か国  
【職員数】 約1000人  
【設立】 1981年  
【年間総収入・総支出】 約150億円

## WaterAid Japan 概要

【設立】 2013年2月  
【職員数】 4名

## WaterAidのビジョン

すべての人が水と衛生にアクセスできる世界

# 1. 世界の水事情



## 水・衛生危機

2010年7月：「水と衛生は人権」であることが国連総会で採択  
2015年9月：SDGsゴール6「すべての人に安全な水と衛生」  
しかし・・・

7億7100万人が  
清潔な水を使うことができない

17億人が適切な  
衛生設備（トイレ）を利用できない

30%の家庭に、石けんと水が使える手洗い設備がない

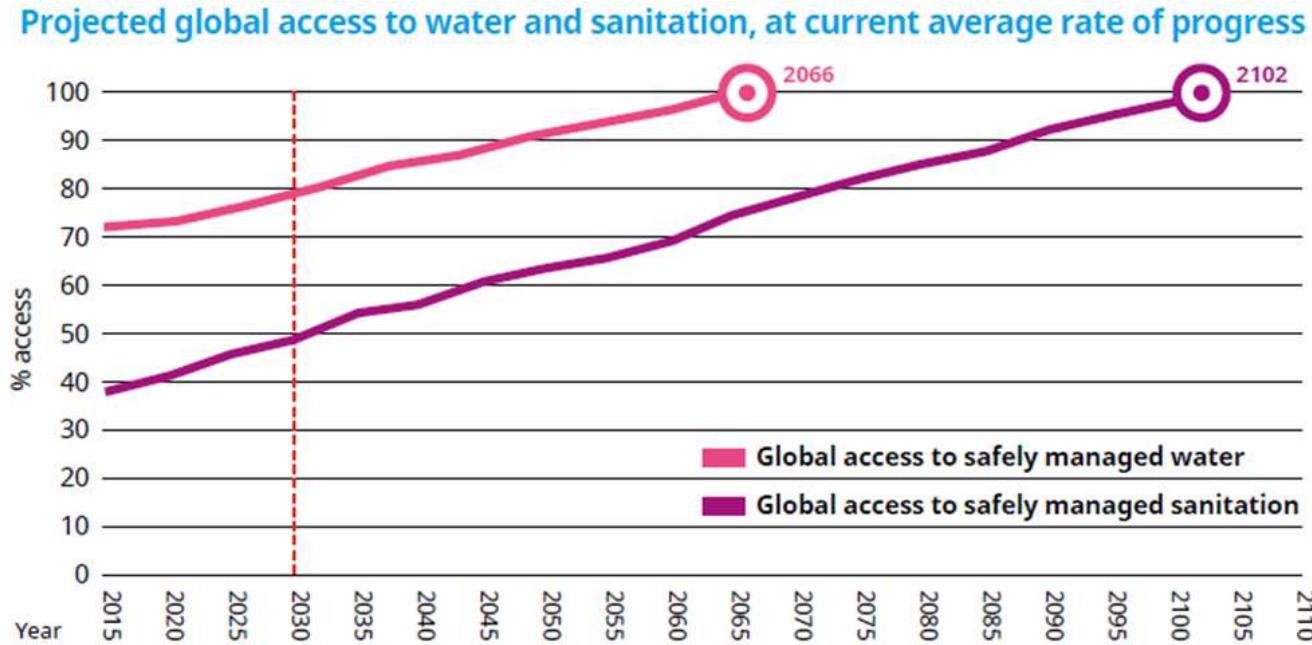
3分の1の学校で  
清潔な水が使えない



## 水・衛生危機

このままの進捗状況では、2030年までにゴール6のターゲット1と2は達成できない。

- ◆ 水のターゲット→2066年に達成
- ◆ 衛生設備のターゲット→2102年に達成

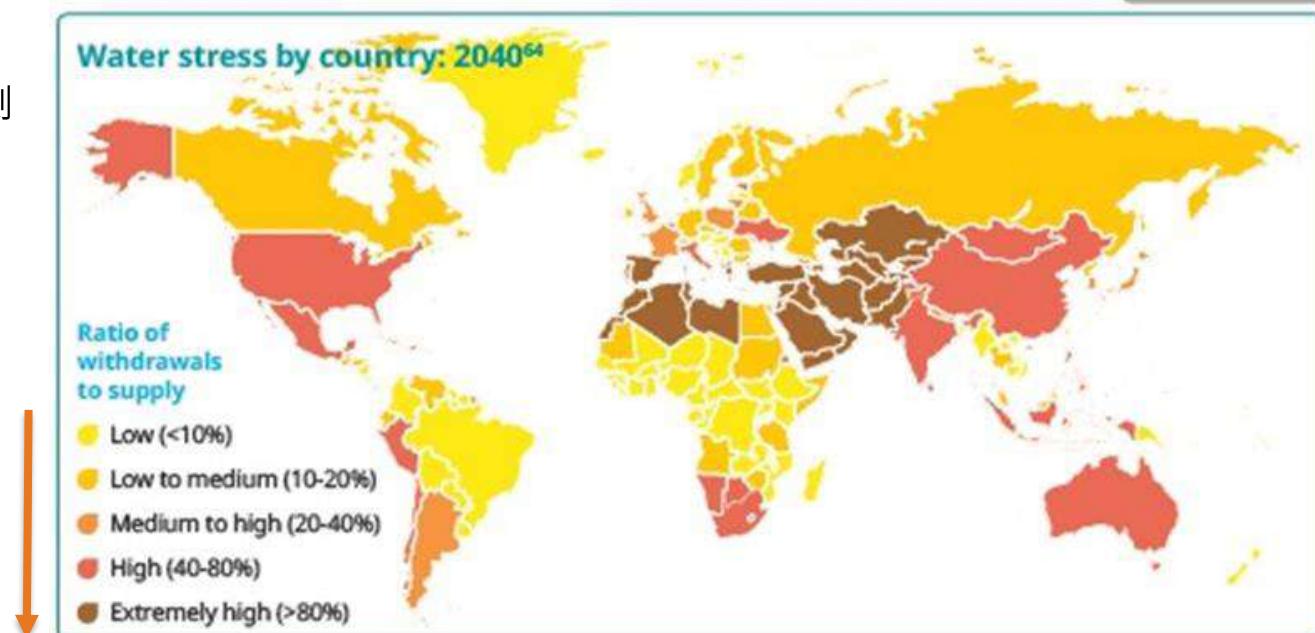


## 水・衛生危機

- ◆ 2040年までに33か国が極度の水ストレスに直面
- ◆ 2050年までには50億人が水不足の地域に暮らすことになる見込み
- ◆ 2050年までに世界の水需要はさらに55%増加する



2040年の  
水ストレス予測  
(World Resource  
Institute)



# インドの 水問題

2030年までに、インドの人口の40%が  
安全な水を利用できなくなる



- 世界で最も多く地下水を使用。世界全体の24%を占めている。
- 人口の80%が地下水を飲み水に。
- 54%の井戸で地下水量が低下。
- 6億人が、水ストレスに直面。
- 70%の水源が汚染されている。

## 水危機の影響

水ストレス、異常気象、水質汚染など  
水危機の影響を大きく受けるのは貧困層



ハワさん（エチオピア）  
近年、毎年のように大雨や干ばつに見舞われる。農作物が被害を受け、収入を得ることも、食料を確保することも困難。



ヨギータさん（インド）  
10年で4m以上地下水位低下。夏は、井戸が干上がるため、給水車から水を買わざるを得ない。井戸の水がなくなる前に水を確保すべく、夜明け前に水くみすることもある。



スレイさん（カンボジア）  
頻発する洪水で子供がおぼれないか心配。洪水の水で、皮膚疾患、感染症にかかることも。

# サイクロンの影響 (インド)



## 洪水による水源汚染・ 衛生環境悪化



左：タンザニア 右：バングラデシュ

# 感染症と 水・衛生

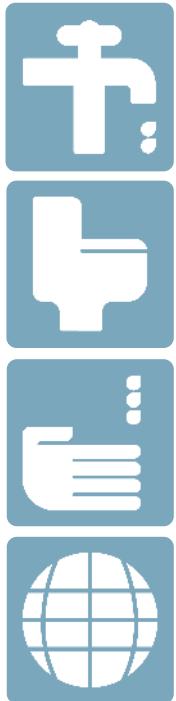


- ◆ 世界の30%の家庭で石けんと水を使って手洗いができない
- ◆ 後発開発途上国での45%の保健医療施設で清潔な水を使えない
- ◆ 世界の43%の保健医療施設には、水と石けんを使うことのできる手洗い設備がない

## 2. 企業の水リスクと水・衛生



## SDGsゴール6



- 6.1 – 安全な水のアクセス
- 6.2 – 衛生設備（トイレ）と衛生習慣のアクセス
- 6.3 – 水質
- 6.4 – 効率的な水利用
- 6.5 – 統合的な水資源管理
- 6.6 – 水に関連する生態系
- 6.A – 国際協力
- 6.B – 地域コミュニティ

# 企業の水リスク



## ◆ 物理的リスク

→水不足・大雨による浸水で操業できない、原材料が入手できない、など



## ◆ 規制リスク

→水不足や環境破壊を防止するために、新たな課税や規制が導入されること



## ◆ 評判リスク

→企業の水利用について、周辺の環境や住民の水利用に悪影響を与えることで、悪い評判が流れること。株価が下がったり、不買運動につながることも。



原材料生産のための水の物理的アクセスや製造時の水の使用効率・排出など、環境重視の取り組みが優先されてきた。

## 企業の水リスク



近年、国際的な枠組みにおいて、環境面から水リスクに取り組むだけではなく、社会経済面のリスクまたは機会として、水・衛生のアクセス改善（SDGsゴール6.1と6.2）に取り組むことが推進されている。Alliance for Water Stewardship Standard V2.0、CDPレポート、Water Resilience Coalitionなど。



- ◆ 職場（農業経営者・労働者、工場労働者などサプライチェーンに関わる人々）の水・衛生



- ◆ サプライチェーンがあるコミュニティの水・衛生



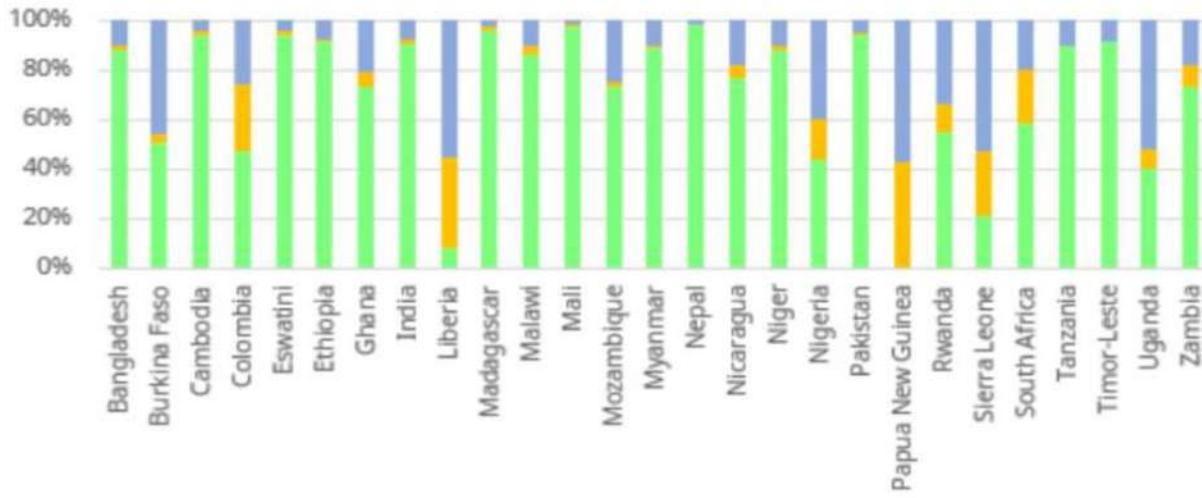
→先進企業の事例によって、水・衛生のアクセスへの取り組みが評判リスクや生産性に良い影響をもたらす、というエビデンスが集まりつつある。

→従業員の退職率低下、欠勤率低下、生産性・効率性改善、サプライチェーンのレジリエンス改善、従業員のロイヤルティ、評判リスク低下、操業コスト減





### Water Withdrawals by sector



Source: Aquastat 2017

■ Agricultural ■ Industrial ■ Domestic

# 農業サプライチェーンと水・衛生



- 労働者が清潔な水を使い、野外排泄をやめてトイレを使い、手洗いすることは労働者の健康、ウェルビーイング、生産性に必須。
- 労働者は、高温多湿など様々な天候や環境要因にさらされることが多く、熱中症、熱疲労、脱水などの健康への悪影響が生じやすい。欠勤、さらにはより深刻な健康被害を引き起こすことも。
- ILOは、2030年までに、気候変動による労働力の生産性減少により、2兆4000億米ドルの経済損失が起きると予測。
- 中米のサトウキビ収穫に従事する若い労働者の間で、過度の発汗によって慢性腎不全になり死亡したケースが確認されている。

Water, sanitation and hygiene: three essential ingredients to resilient agricultural supply chains.

November 2019



DIAGEO

CDI  
Mondelēz

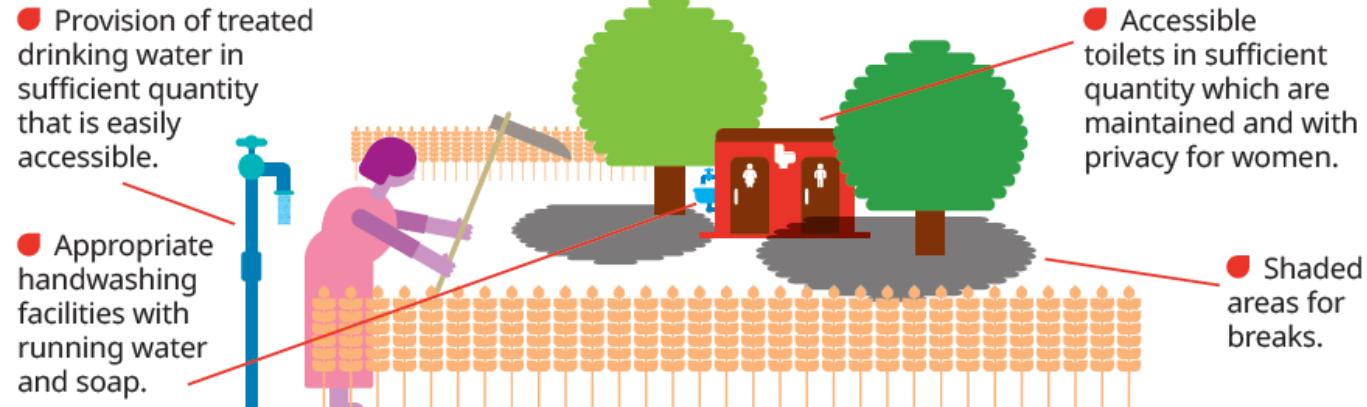
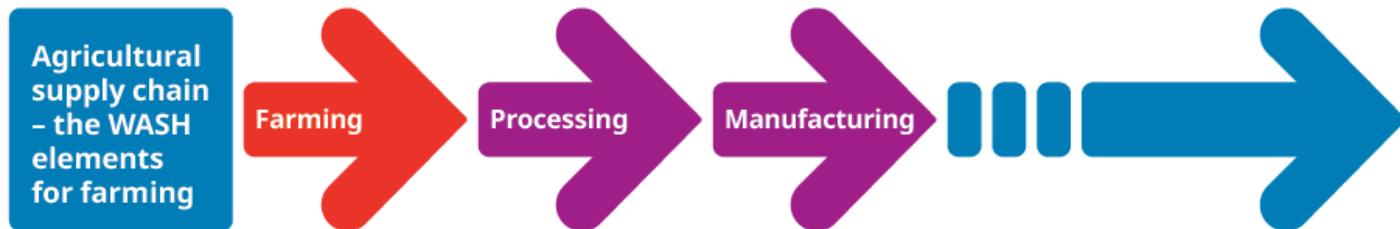
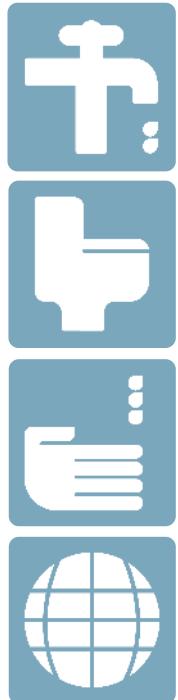
ALLIANCE  
FOR  
WATER  
STEWARDSHIP

WASH  
4 WORK



WaterAid

# 農業サプライチェーンと 水・衛生



# 観光・ホテル産業と 水・衛生



How can hotels help end the water and sanitation crisis? Six steps for hotels to integrate water, sanitation and hygiene into water stewardship

27 March 2018 • Posted by Laurent Arnone, Ruth Remond and Nicolas Poin • 6 min read

Hotel companies can play a vital role in reaching Sustainable Development Goal 6 – ensuring availability and sustainable management of water and sanitation for all. WaterAid and the International Tourism Partnership team up to explain how.

In a new report, the International Tourism Partnership (ITP) outlines some simple steps for hotel companies to follow to improve overall water

<https://washmatters.wateraid.org/blog/how-can-hotels-help-end-the-water-and-sanitation-crisis-six-steps-for-hotels-to-integrate>

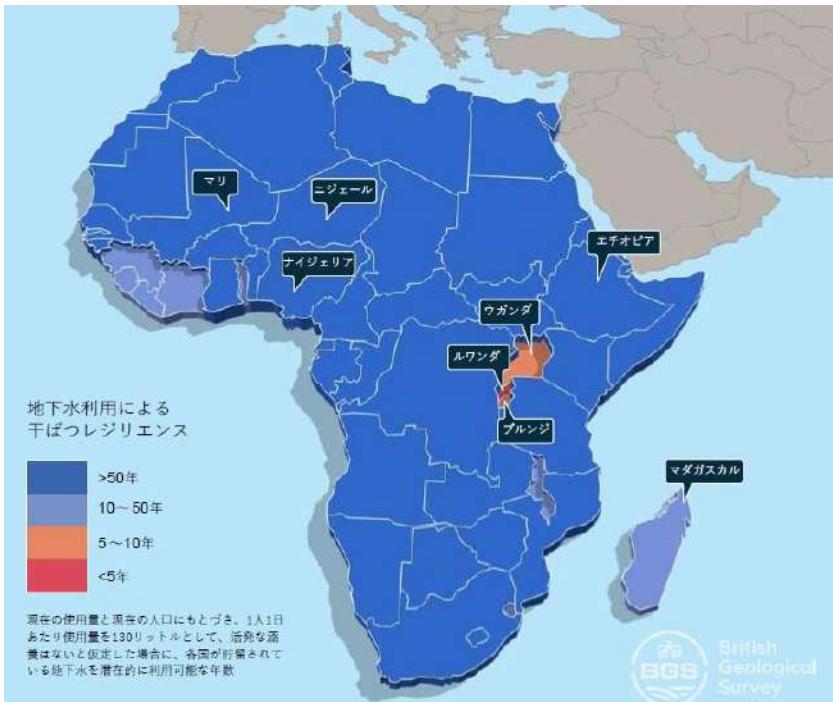
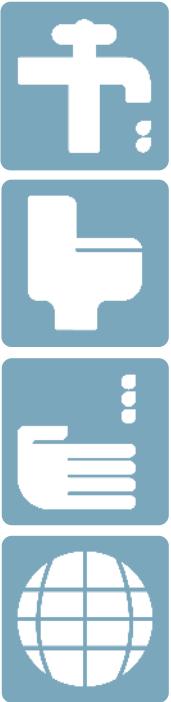
<https://sustainablehospitalityalliance.org/our-work/water-stewardship/>

## ■ 観光/ホテル

- ホテルでは、1室あたり1日平均1,500リットルの水を使用することも。（東京都では、1人1日の水使用量は約250リットル）
- 観光業が、住民が使う水の量の8倍以上使っている地域もある。
- 今後ホテル産業が成長するのは、中国、インド、東南アジア。現在または今後、水ストレスに直面する地域である。
- 2018年のケープタウンで起きた水危機によって、現地ホスピタリティ産業の収入が6500万米ドル減ったといわれている。

(International Tourism Partnership / Sustainable Hospitality Alliance)

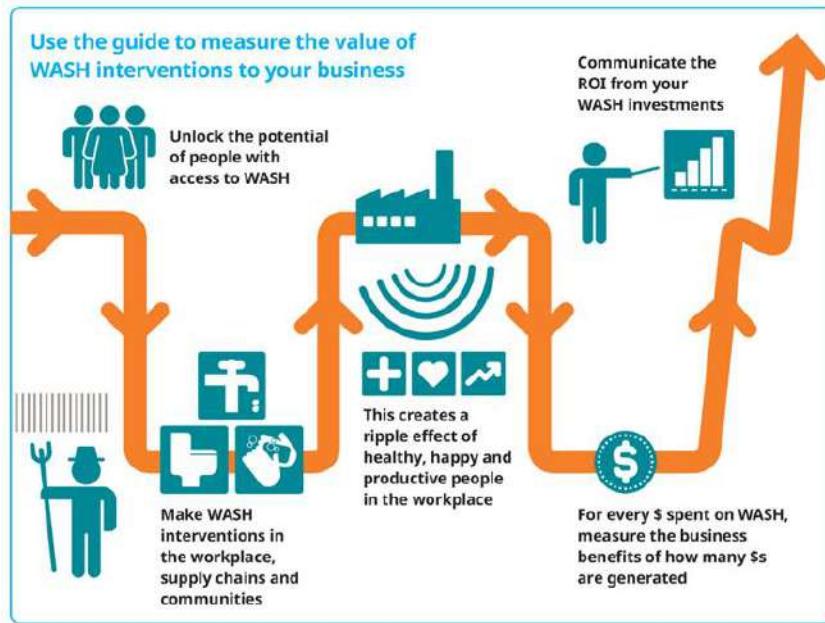
# アフリカは 水不足なのか



アフリカの多くの国に、干ばつが発生しても5年間、人々が十分な量の飲み水を確保できる量の地下水がある。50年以上の間飲み水として利用できる地下水の貯留量があるケースもある。

人口の半分が自宅の近くで清潔な水を利用できないエチオピアやマダガスカル、そしてマリの大部分、ニジェール、ナイジェリアでも同様。

# ビジネスと水・衛生



**Strengthening the business case for water, sanitation and hygiene**

How to measure value for your business

In association with PwC and ODI.

DIAGEO  
Gap Inc.  
Unilever  
WaterAid

### 3. 企業による 水・衛生の取り組み事例



＜アメリカの大手アパレルブランド＞  
カンボジアの工場・コミュニティを  
対象とした水・衛生プロジェクト



- ・カンボジアには、655の縫製工場に70万人が勤務。90%が農村部から職を求めて都市部に来た女性。貧困かつ脆弱な立場にある。
- ・長時間労働や過酷な労働環境により、腹痛など、常に体調不良を抱えている。
- ・15%が水道水を利用できず、川の水などを利用。43%が公衆トイレを使っているが、その半数は、非常に不衛生。
- ・2020年1月～、9工場と近隣コミュニティを対象に、水・衛生プロジェクト実施。



## <HSBC>持続可能な サプライチェーンプログラム



- 2018年6月に開始。バングラデシュとインドの24のアパレル工場内、工場の労働者が生活するコミュニティで、安全な水とトイレ、衛生習慣を改善する3年間のプロジェクトを実施。
- サプライチェーンの水・衛生改善が、生産性に貢献する、という事例をつくる目的。
- HSBCのコメント  
「世界の金融機関のリーディングカンパニーとして、世界のサプライチェーンの持続可能性を支援することが重要。」



## <HSBC>持続可能な サプライチェーンプログラム



### Fakir Fashion Limited (バングラデシュ)

- ・ 雨水活用設備を設置。事業による地下水利用を20%削減。
- ・ 隔週で従業員による「水・衛生セッション」実施。
- ・ 従業員の欠勤減。モチベーションや生産性向上。
- ・ 新型コロナウイルス感染症に対応し、手洗い設備を設置。予防策のリーフレット配布。



## 紅茶農園

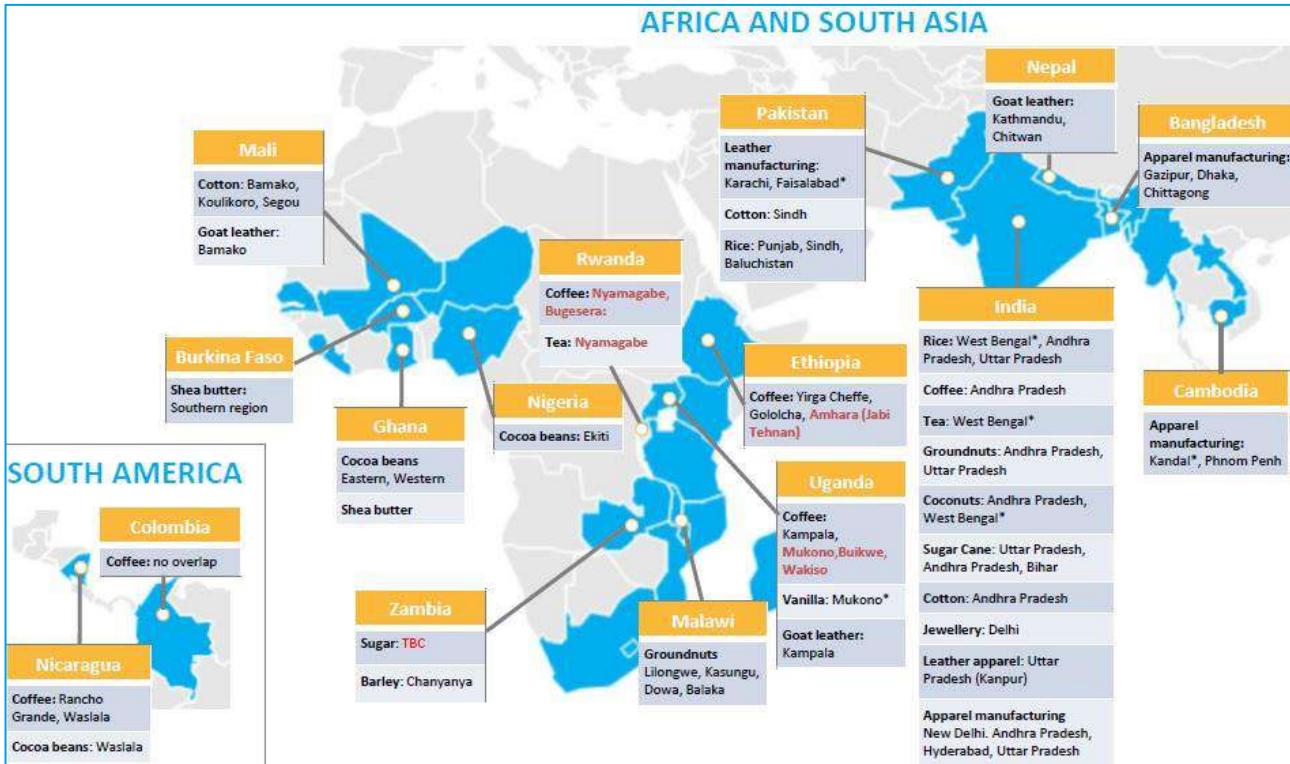
### HSBC、トワイニング



- ・ 紅茶農園で働く人々は、小川の水を飲料水にし、野外排泄をしていた。
- ・ 2010年にWaterAidがバングラデシュの紅茶農園とコミュニティを対象とした水・衛生プロジェクトを開始。その後HSBCの助成を受けてプロジェクト規模拡大。
- ・ トワイニングは、インド・ダージリンにおいて、女性のエンパワーメントに向けた水・衛生プロジェクトを支援。
- ・ 「以前は、体調不良で仕事を休まねばならず、その日は収入を得ることもできませんでした。子供たちも頻繁に下痢にかかり、私は仕事を休んで病気の子供たちの世話をしなければなりませんでした。」 Bina Patruさん



# ウォーターエイドの活動地域 とサプライチェーン



ウォーターエイド  
の活動地と各種生  
産・製造地域  
(2018年)

- 綿
- コーヒー
- シアバター
- 紅茶
- ココア
- 皮革
- 米
- 砂糖
- ナッツ
- アパレル製造
- ジュエリー

ありがとうございました。



WaterAid